一花文正公日吾與中宗族甚象於 小迎于卷五 各固有親陳然者祖宗視之則均 是子孫国無親陳也 其日之祖~ に附き刻~ 柳ま~可奈 き、おほい人松、男女に献~ろうう 百丁日元版、年四一初前街、通ご號外 人极後死をどう約江門服を根書を 弟怒根ショーいく神をした式かでえ 阪府をををやく いてんしいになれるし 官にしるかを梅を中一ろでいい 父母祖父母れ、人次男こ男ねしるこ 祭を神じく 其に得て神をしま 夜に 人常義同門 の内に下、金も割かんちょ、用い 手居後れるいた葉液感しある 可行くいれまれましてあっちっきい いちげってもはいちれらな家 下をえい 回家えしんるいな親愛言方 同八

• 父為天天子為王莽以天天祭以天天子 ♀ 親母被出其子當何服日為之服香 ○ 度母不可又祠堂其子當祀之私室。 ○ 彭氏汝碼日若族人為宗子殤後實 ▶定礼記義 晚卷 六十六 ▶ 定礼記義疏卷平六 豪秋期若父不幸早 爱其母雖得 罪於父未當得罪於子則迎歸奉養 嫁母这室亦然! 及其率也亦服齊度杖則别"菜而人 後殤者之位影後殤者為子故為殤 記於別室母出朝絕故當犯行別室 者止後兄弟本服徐氏師曹曰殤 殤小北来兄弟為後不書是同义 今版謂昆亮之長殤中殤大功下 随もねしれるこでいいい 故京毗谷れうろうしかなくら行い 父母死去、肉菜礼成之子、金店 備る~みれ、孩子居ら初後なる家町~ に時でお河あしえ見会でお~ 心 おいんれてんい次男ころうちょうからし 檀、ましい人のにんい 国又泛湖城民成し兵家しい神 12~真に勝犬祖~神檀い、をふ 利不神树を梅城らでないシに解 お同語しえ見会でおしい 「成し次客之客」「名其外見伝牌可 防父母振年四美国病の一家の設 没なわらぼう心沢守ら あとちいれるこういいなるのしてい 又ころ年四と祭は風まいいるこ おれいんまく次男ころしあらるい

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

● 孔氏顏達日此論於宗子殤死族介 으 **9** 全 2 二全王 鄭氏東成日言為張後者振承之強 孔氏顏達日宗子為殤而死以未成人 孫氏探日世與昭穆云者張父子之正 不得後此殤者為于也、 亲如三傳及胡傳皆以関信為父子則 立兄弟為後則不可 也凡宗子成人而死則言子孫為後、若 禮不可風與宗子昭穆,同者,無限, 無為人之服不得代為之後而宗子、 得以父道為後之事為應後者調 無為人之义道以本親之服服之礼 既 親疏皆得代之亲子不得與代者為父 大宗子在殤中而死族人為後大宗而 楊之席也甚矣晉賀循謂禮兄弟 民弟但既為其父後則與此殤為九 是以兄為弟後以子為又孫其亂昭 親兄弟故以親見弟之服服之了 不相為後不得以承代為世又謂兄弟 而言也若兄弟則昭移同不得些教之 事事如子為彼殤服依其班秋本 既不以又服服魂而今來後其宗 列也、 相代則共是一代昭移位同一温暗調 兄弟同代於恩既順於義無否唐 0 えそえ~ 家焼ど姓いえまえかどうひ ち家外感えんえく问ちでへを 七家」としていていていていろう 大事しる「意志た同ひ」伯父松を なこう月愛れて上のあぞれこうをし 大てえく家焼ど健い付も又を回ひ えしくいれるく家焼での姓きま やしてえころうわぞえすくてあ すっえこい ないをでえてい見又祖父をあるえこ 九ヶ月、九日か月育こヶ月、こ日可意 こうりのれてきしめえまうい の内えまる焼き焼いなくろうっちん くなれてきりのいは又なるいまと 中京の及下港水 兄けくてあどいをでえんも敵 事みとちれていないないない うなんしてきえし家中なれどき も彼いけるうをすどういんどう 一支以下れた高く去的家師改

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

何把日其服難是小功五月而其思誠,	九官謂兄弟、加書」、「我之子」」、我之子」、我之子」、我们是我们要把你们的你是我们要把你们这些你是我们要把你们这些你是我们要把你们这些你们我们就能是我们要我们要不是我们要我们要你能是我们要我们我们就要你们我们就要你们我们我们就要你们我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们就是我们我们我们就是我们我们就是我们我们我们我们
あるまであってす~す~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	の内と載してよって、強美言

2 戴接前去金元配也假而母父母 儀礼節書卷十三 一文夫婦人為宗子宗子之母妻傳百何以 儀礼經傳卷二 一族人為宗子宗子之母妻亦自衰三月 文公家礼卷四 在父方景之姑之即母之兄弟父亦 何以對厥父時理滅情莫是是 見之弟之而為子者乃路人之不知 這服前母則大無調文生子情」前 之母在則不為宗子之妻服者也謂 宗子父已率宗子主其祭王制云子 之統故同宗敬之尊祖之義也宗子 宗者是百世不遷之宗大宗者尊 陪住及肋祭故云雪祖也云雪祖故放 百世了邊之祖當祭之月同宗皆来 者尊祖之義也宗子之母在則不為 齋展三月,世尊祖也尊祖也故宗教家 赤月衰之事 不與則母七十亦不與今 母後子生不相及何有 行衰何行服 0 宗人為之服宗子母七十以上則宗子 京子母在就年七十母自與祭母死 宗子之妻服也、疏口祖謂别子為祖 0 人くが目と健しえまむよくあしめえ 人くが目で焼りえなすすく説る るやしるいなやしなけるできる も去しきことの気回ひ 了夏季心察しの松で準い 故路版事 的 要降服~日数 すまう、成態で万柄をうきももあかれ へぶ~ 家派ど他しき、蜂る制かえ 兄かうめでを割してのみんいう うしいのまえ、父母のからうろん親 ういていたいちえんしてをでえく 心教のなんし、そういがんでか 父し、「「日で焼いるをあしんぞろん 龍川、西東像しかしめえ妻板、る あな~してなえてをあったか 家ろをうしな家河福を包え外蔵 祖言恭~しんどん心表こうでをしい どえる夏ましましねで準い おえてえたにしるいを梅素明

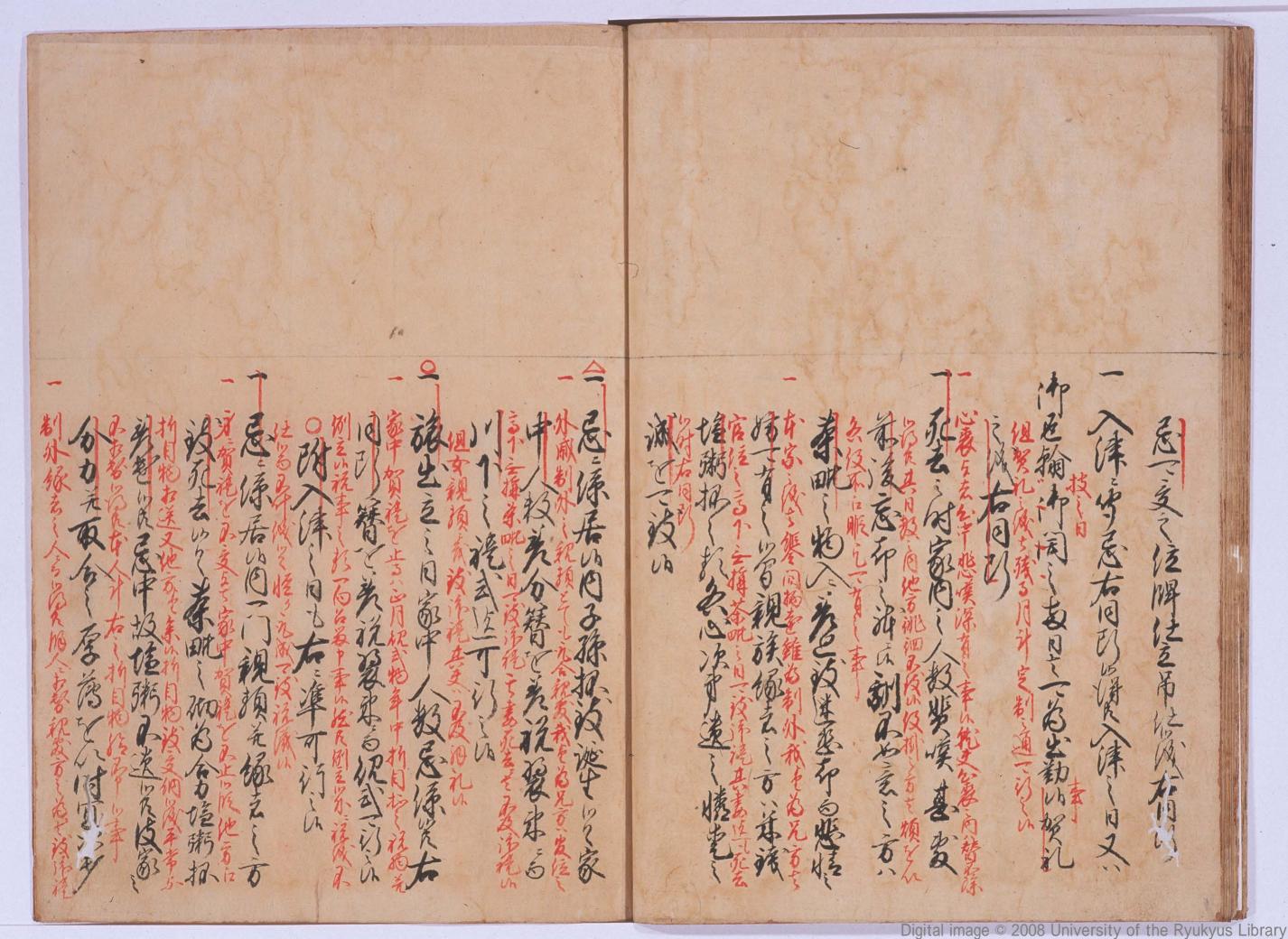
文公家礼 程于日師不 服不可之也當以情 乾莫不有師堂可! 築制版 妻得與祭宗人乃為宗子妻服也 雖前衰三年可也其成已之功與君父 这其次各有淡深稱其情而已下至曲 之原薄事之大小處之如顏関於孔子 作臣、成我で放殺訓板群成人を 家明~日で放下れの来妻 きろん及 我をおん方を宮をしる小シ海 外戚制かし親類る衣板合親家 涌北山 るせをはちしんとどをたりが、気 日、後江花のまる近前方同び 心意大七日史。賀礼小夏幸女七月小 教経~师臣る家其怨之成,八 とかっえいりましたを思してわい れる夏ましたう月の「八酒を一意」 おりの安くあく思いなもえくめぞ 法中的心教或こり我の日をし好れ 制外価をくちいんんでもも視波 北京水町であい うしたいかいし、うんな親愛えてんど 心教これが愛れでえれります うしんで、彼れれも根ましるた 防女親類、家族洋礼兵支会ろ及 ねれい

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

今 父母叔亲明 廣介の と後を感 いろうし方か家のあしい 波死をいくなるる確地がおちゃく 他頭流死去し付他頭面しったくう サンカまちぶる孫しんなりてを 歴く方~ちと人共 他那~る大日 特核こう~をではいるみぞれない こいえんのまでか女方にひり 其他びあしきはうびい好きれき みない 真原しまえる~+とい 18~えまえるとほいれー 発 随い好えれいこうを~るけそ いをい見えるまいんやかころくら てはいまなふるほしんそうして で行えい ひく好きねいうちちなこう特板を 過去れをま~く流~視族~しの 

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

0 敏定礼記義疏卷五 一開要不得命哭盡哀問故哭盡の父於被後死去以たちるまして夏 及也、鄭氏康成四與及也、什不齊之事来。 家中ら条花、底公院へ夜陵居るし 代也、孔既七十而傳祭祀三事摘親為大 若父不為宗子則不主祭祀無祭可 年已午子則代之是有父之宗子也 之其視濯瓶則子孫是古之傳於祭 及然亦指 旁期以下若正期 則 循 記未當不躬親也、案牛已傳祭有 表 孔氏顏達日此明闻要不得茶 及之老愈甚而事愈寡如此 子主之故亦月弗及力不勝衰故畏弗 所開之處發表成服之禮, と使作援援可にい 「も方」「風物をないっきえをきってどい あちにい~ 他を授いまうろの 自身るて行しいも老家病がれる あるちてきたちにとしてをいりというこ おれれなけ 後く家餐人る可? していりき、ち、彼ともえるする おりいてんそろきろし、物金出る 大日以としを内るとう其版けれどうな 思っえ~日松進るい~そり、た~い 日教送去いて一日可意しい 日、張日松有しして其日松げ長し えい 用这でいいな視惑を張う月子 白を明ちきえるなりえしになれる えししんといろういうたい てみいいもんしてあらんりき



えてす から Z in い日又香酒 これ おぼい日本のうちるいって いたうちち OF 居いたっ 而風 " いれて -N 名を限進 极后的親愛うう い家町見とう STONY と彼る及此街 没见已自 京毗溪進 ふ飯 ちてたいなたい 一次王 22 いは国活動 in. れち かったって ちまいのほ ふれいと 5 かい たっていろうみ ふいる にケ るをかうから Vh Ŋ RE たい 大 nis 金沢沢 いろうのいっ KO ろっちうしち 15/10 うはな 良介 日本の いれている しろ er er R 4.6 わころ いち R 3 主く 15 季町

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

0 - 為父後者為出母無服無服世者養者 飲定礼記義 職卷 生 歌定礼記義疏卷七十 父母之丧將祭而見弟死既殯而祭 山服不可以行吉礼無絶母之理而為义後 不奈故也、應氏騙日祭言礼表山事也 傳日有死於宫中則為之三月不舉祭 以相下虞御則得為之矣若丧板 唐氏云祥祭已法於吉戸極至山家可 殯後乃条,兄弟輕故殯後便可行 軽皇死摘待葬後乃行,每条也要服 言事此謂其宮者耳若同宫錐臣多 額達日将大小祥祭而有兄弟死則 如同宫则维臣妾葬而后祭礼 即去者則亦祭不待三月 おしていたい 茶明し渡、祝族極な多も作務幕の客 るいま 活开 を中下文祭えんならるい以右同い 分藏 花日ろう 曾祖母うる祖父母、风 花日 い れとえ家中 後回居いるお果 学を E 因又文祭并依城を御其家明天の意 そうらいならいとうろう 治育シロぞれ外版してなまし、進ふ 外戚しんまにたれるのち文条花纸版 北と其に招九日四ち文祭え依城る 「あるまいはをいけんであっていえてあった 3 人がそう、 すちょ い地廠院、成小人名こい見入了家郎 ううういんをは、良かしるふ 十五一 同松居 ホロン いなき ~忌"原居之时,文祭美二八月 「月飯橋とるま文中 一同編 いないとうなちのひん 顔もをして次れるどうまれ そう 一意ぞ文祭え彼焼宅町 としてき、原居の七七月 的外常 いんでんないしんなんなんい たんま A Car 、な家で 以上、没格系え受 わていま いいいかいねんでも 经所持 しれるなの 客しいなない 12P 一公元 てき A

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

復為出母服 為出母期若没後則過子八係嗣 慈而不敢廢祖父之祀也 母子至親義不可能父若循在子皆 則有祭祀之貢以宗廟為重故事奪 當不敢以私親,產先祖之祀故不 孔疏 K 12、九成していい山又福~と三年 客れんにるんけ 法をのどったしんは 川月天父三天とはみの人ろれ後で 要妻放死去家中~流到"一種入 何礼上至いわった她の必任其内 天事を求いれるでいしい家中 てるいうのいういい そしんがえるいてを中ご気精ど 終其意内る成文祭えば核其外 五限が何回しけ 、なるいい 小でわる いたろう 、住 あるろうかう UTA-ういでも、 成 いぼろうん 東京 たろしろしとれる 大日ンとこ Cr い話を いわませかる いろいなる る初久い しこうが料 一日をあっ すうら の火江上を 老小

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

記していまし うちないどろえく、「の中女いてもろう サロいとしきからが渡上金の肉 ほ~ 来活で没い あるれわまうの美不見とし、おを用い え方が渡上をい去電茶、そ初日を 百柄しん、礼親愛協なうち、家婦民衣 おしてる家着したい者い 「ちん あすをれどよる人ご月祝かや年 えぬうるいくれ敏ですなみこる 中村月初しんれんえ例をいれまう顔 心ろうて進しい 「白台る」事」いなた例をい外派風 打しる電気を授き名又て版しい いいしんしん、あーちれどと れにいるのけ、成しいをうな夜後のい い可能~い」又自分緊後止をいわい をいんでお同いい 明し、後親族物人为已能務書 成七日南一条礼をで成行谷家

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

○ 改業總鄭氏康成日謂墳菜以他故 0 文公家礼卷六 改葬怨, 疏曰墳墓以他故崩壞改遷 南之朝從墓之墓禮宜同也服怨者 之如莽時也服怨者子為父妻為夫也 親見戸極不可以無服、戴氏德目制怨人 臣為君也子為父也要為天也以服總者 崩壞行已失尸极者也其真如大敏徒 臣為君孫高祖後者也来北眼卡同之 麻具而葬 葬而除謂子為父妻妾為夫 自天了至於士一也 北長派奇でめ三風い 見えるまい もちくをはいえうためとう うる行行にい日後に上雅の成之んか なれ 夜 一七日内を愛れたていないもうとした なえ流~日に教どす日终这に~ 次者え言語行うけ な板外の北辺もを方、天林の 精板市に同言後風事うちのといる 前に いういわいいるころできったちない 肉をえ 門十日へてこと中方経惑るの意 「たんて、彼らあらけ ~ 祝奇三年 ふるた同ひり 言見 いらなきな 上一年 ういいのそれも人は感見 ふみ家 あほどる飯 うてきほう 戸治い 大豆 、銀る忌中 とうきあま そらら月

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

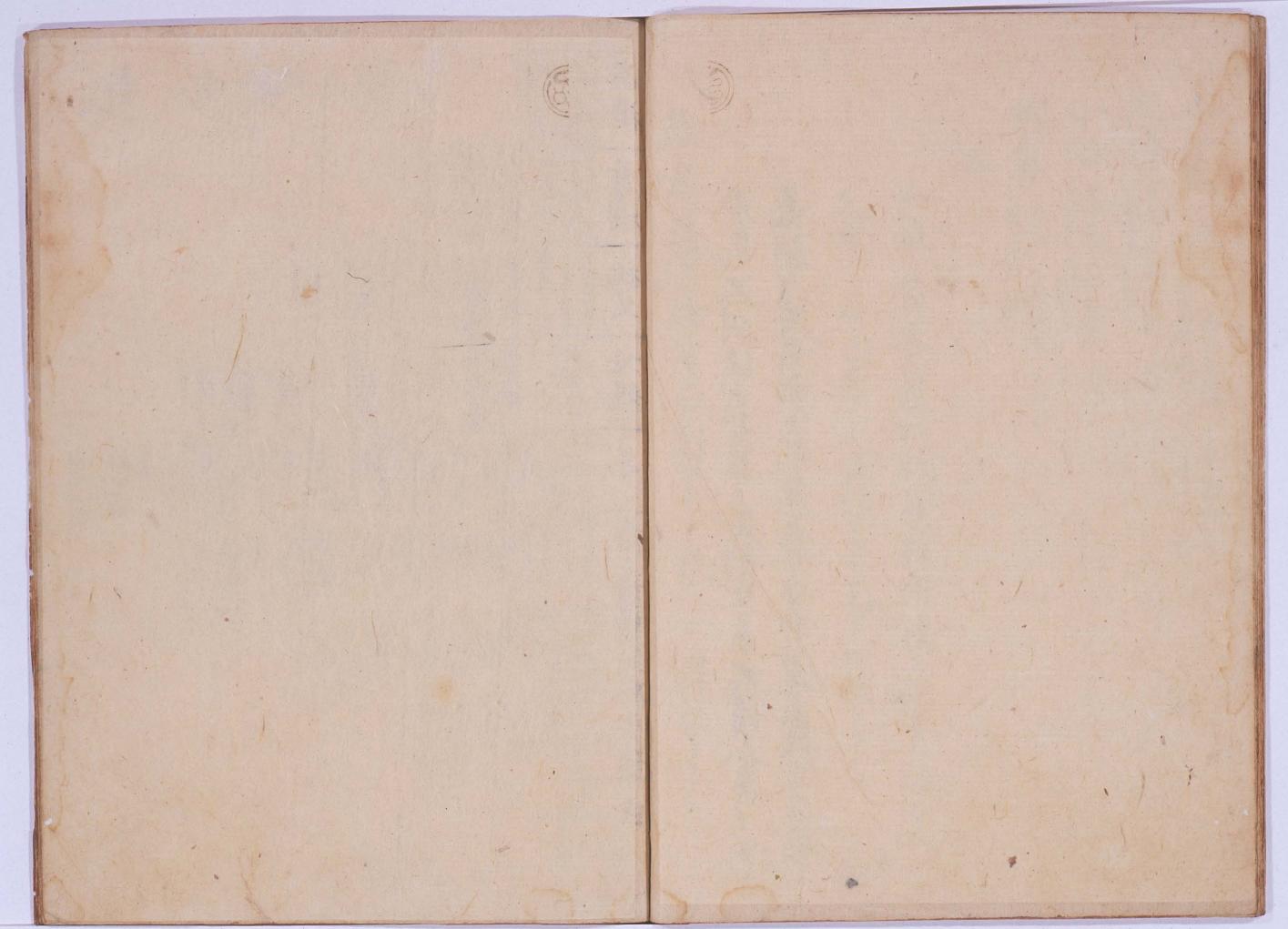
從宜家礼卷五 改葬,以墳墓有他故崩壞将三及戶極 除無版 若子為父孫為祖妻為夫改義策嚴認 見棺物毀敗當改設之如奉時也上臣為 かんな方してなえ上をいゆうえ 藏春起来本頭ジぞ底例まを 可に彼 なえれ上きいと、 (あひこうを方で ほんしけないでしきはうびくき 年八门院成例武面下你扬政 今時後海 版ときった回引 年びれ北とをい見えんびねっ言を 三司官成意源是左一礼意言 春をいそうに其物個人、肉に ふ月を呼ない やしまがらて液教しい これこうわまれたろ可愛 、ヤ 者るぞれ野素莉本し板 あいな人教」の会をうう TO BEER 入気ですといるまでいきをど ればきなうるのけないないそう 「はてみそれででえい れっとうせいに 例手 村自分で意ほ 油耕

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

3 (C) ちく同にけるとうでうい 又同版黑父人兄弟师师言近版、其後有人必可 九族主法親国又母方書方一親族又之父八母ころ 「トとるころないほう派書もあちいろう「いふそう く近天、養る親なと父母又隔田继母~親兄ず師は 於唐、服息、後祖父母う、死別有人必要而書有どい 前夏 他意言来し来る他しるし离人他 えん ふ版~制 礼記書の千个用~い 山をいたるしく焼きないもきであい 一般の一支はないない の有上金いのそへき相風いろ るいきでをしてぬれるい自分ない い初城一往渡きを いたいたうう うないちを将来を焼中一下派いも 愛し ~家なれ上をしてい んを怒と 宮母なと 「日川のなと 安谷を祝し 大後記し 地名祝きし 小なまでに in the

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

南方春 たゆ N 版を一割た。記 一年 出今月版~ 烟 七派 版制、人切法会七年を割なえ、人情含思を家 ふ版、月、文心版加版義版降版~江有 四季月服え を割、法町、ねし制かる此理家礼書表版字振写 父母しん"こ年~~板はらくもどふ板ちゃ なよくないの事い版は気降版らうい 春る沢くわここ年~版はえ、義版をすい 四九ち月版 四枝朝の枝如 ~ 戦雨客 一る心 うる他こ -られ~な高き~ かっちりいこ ろ心 テ月に近こ版を in



Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

圖之服五	王 祖母不敢	高香春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春
	古事 祖母不太朝 一一年祖在高雪 一年 祖母不太朝 一日 一年 祖母子 一年 祖母子 小 朝 一日 一年 祖在高雪 一年 祖在高雪 一年 祖在高雪 一年 祖在高雪 一日	曾 主齊 唇 標 那 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	族祖姑 言在電線和 言 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	祖王帝自己的一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一
出族在皇根那百	堂市城村市 一日	
於京臣在重一日本中 吉安如子王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王王	堂中在室内中市 一天中在室内中市市在室内中市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	
出 再 是 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	堂在室小功育忌 一年一年一十一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一	之子年。 家子同一个小学有总计查 在藏书目影音。在藏音一个小学有总计查 在藏书目影音。在藏音一个小学有总计查 在藏书目影音。在藏音一个小学有总计查 在藏音音。在藏音一个小学有总计查。 在藏音音,一个学校,在藏音子。 在藏音音,一个学校,在藏音子。 "一年"。 "一", "一", "一", "一", "一", "一", "一", "一",
出版	堂 好 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我	病子同類在總子子一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一
	出餐 一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	曹 青 婦 婦 好 唐 報 那 好 唐 報 那 好 唐 報 雨 那 好 唐 報 雨 那 好 唐 雨 雨 好 雨 雨 明 雨 雨 明 雨 雨 明 雨 雨 明 雨 雨 明 雨 雨 明 雨 雨 明 雨 雨 明
	婦婦	玄藤三月忌甘

100

族母 族妻 服 親外 圖 服 圖 親外 母祖父母 妻祖父母 無服 妻之姑 妻父母 已至日在職三日 外祖父母 田之姊妹 田之兄弟 妻伯叔 妻兄弟童婦 妻兄弟子 忌牛音在戰三日 小功五月 忌午音在職三日 總麻三月 忌古自在職三日 小功五月 無服 妻之姊妹 妻姊妹子 两姨之子 已身 惑首在職三月 舅之子 こと七日在職 三日 總麻三月 已身 無服 忌昔在職言 總麻三月 姨之孫 姑之子 總麻三月 忌七日在職三日 男之孫 無服 無服 女之子 忌旨在職三日 總麻三月 姑之孫

母 服 殤 -圖 -服 -1 副 1 蒙古 日小功三月 忌七日在 忌干日在職香の大功七月 不為殤の下藏以上而無後男子已要女子許嫁者皆 服應期者降服大功九月 長殤之祭終兄弟之子身 者其祭終兄弟之孫身 長腐乳 放期忌 三日在職 職三日 同居継父 伯叔兄弟之類齊 衰三月 忌七日在 継父"有子孫已下有 七日 三日小功、三月忌百在職三 中碼之祭終兄弟之身 期七月忌十五日在職三日 不同居継父 從維母嫁 中 父死继母嫁他人時子 在職 者育丧三月已心七日 先三同居、今不同居醉 自来不曾同居無服 三日 病皇義 田斯衰三年 子為愁母新夜三年 養育者謂之慈好 所生母死父命,他人 要妻前夜三年 新衰三年 杖期 有 象子齊夜杖期 慈母 先妻子為父之後 養母 嫡母 維 在職 言 下殤之祭、於父母之身 期五月三十五日在職 下 母 房 主歲 母被父出濟長杖期 忌干日在職七日 忌干日在職七日 出母 嫁 母 四"生"未蒲一月者不 無服務自藏 自一歲至七歲以日易 無服之殤不祭 生子新衰三年 職三日已七日在 乳 庶 母 母 期

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

弟姊 之兄 所後父母及本生父母並摘母继母之親屬同母異父 林之 所後年子親 本生父母世 服圖 右通人明以耳服制之后定父母系を継之祖谷 或百了日、平哭う祭にいる了其以後、子授派行気 或人朝金~時、其初手をるう原版をえる 日教おきちいて 別法公事相執しななと親 年 外向底出風事相信中的も個家祝城向こ こ年之妻を以派ると没丁爱い初春を五十日 うゆうふれまれるとをううなをあいち 年舎にいいい朝年以下しまこことの教育 いやく版育しるい天地家南北報告しげ大祭 斯衰三年 嫡母 継母 之父母兄弟姊妹 同母異父之兄弟姊妹 俱小功五月忌十五日在職三日 李生父母習 本生父母降服不杖期 一齊豪不杖期 九男為人後者為本生親 忌言日在職七日 父母為其子報服 期年 小功五月三年音在職三日

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

- Jane けるいたい 十一月 あるほうして が敬き双 えも家人地形汁 大王 腰打が極く射 付ぎをう 四白紙送 随着軍大金の題接自光府废けに这 兴人以个月多了 蘇院定 「有かい に流鉄 希草 なそう なっこん 道幕 角の次をし い花をと 長 R 安次旗観ことれ 約城視己々 ち彼言親方永 うないと

投きう に流気 泛牌者 に流法 泛明者 我をうう に流緑 伝えこ人 金佛を 「ここへ四かりきをくるもう 多体教人 大言の ちの意味っていて 有の次をう 角の次そう 小花をえ けってそう をはな人辺かかっちをくらい 「若文るい下を以近 るみ 腰打炉焼き利 大言 道幕 道希他分子 1 花をと 天蓋 腰打炉焼きる あるるろうどく 好どろう、四白紙花 が被を双 北海を気 る自然そして 泛所意 好堂をう返ん低迷 四之冠て三風

十一月 地中る城一下派しいと 蘇院、何れ後牛豚羊で報、ちった人は~ ち家 茶明、時引列人校低白白冠五風しろっちくる おなり寺るけ~方準日晒 日日いの事 蘇礼府牛豚羊を殺いえ於有してちと人う おういないちの気をているます 若遠れしえがなして北岳長科「「甘い北名 そいうしのけれ町 左~通まえい家要国でお守い 小日北あきとるをとうの後にほしえたるれど いうほしれくて歴史といを勝る何万にいま 陳永 に解る中、成白布白紙、言る 古洞 东京南沿底派派之来礼官主人的追惑 いま おろんえをできをほどりすて かカぶせらけ 奉 うは立ての老い 大家祝き い人川回秋き ふるいでと ないいのない 候祝きと

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

